

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 859

事業名	南あわじ市カップゲートボール大会		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	観光振興費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】			
	施策目標	市民自ら地域の魅力を知り、あらゆる方面からみんなで発信し、南あわじファンを増やす			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	大会参加者		対象人数(人)	800	
	目的	<p>意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)</p> <p>大会に参加するために市内宿泊施設に宿泊することで、南あわじ市の美しいふるさと資源や特産品等を堪能いただき、南あわじ市にまた訪れたいと感じていただく。</p>				
	実施内容	<p>(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)</p> <p>兵庫県ゲートボール連合が主催している大会に、市が後援し、入賞者への副賞(海産物等)及び参加者への地元産品(乳製品)を提供する。</p>				
	背景	<p>(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)</p> <p>観光協会が協賛の事業であり、市は後援という立場にある。旧町時代から引き続き実施されている事業であり、大会を誘致してきたことから市としてもバックアップしているのが現状である。</p>				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(兵庫県ゲートボール連合)		
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	<p>(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)</p> <p><input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前から行政はバックアップという立場であるため、事業としては協議されていない。</p>					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	大会参加者数					指標単位
							人
	指標説明 (指標算出 方法等)	大会期間中に宿泊いただいた人数を指標とする。					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	600	600	600	600	600	
	実績値	692	590	592			
	達成度 (%)	115.3	98.3	98.7	-	-	
目標値設定 の考え方	本事業については大会を可能な限り継続することが大事であると考えため。						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	120	123	111	120	120	
	記念品	60	60	48	60	60	
	食糧費	60	63	63	60	60	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	120	123	111	120	120	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	359	361	335	338	226	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	3	2	
事業量2(事業に要した人数)	4	4	4	4	4		
年間経費([A]+[B])	479	484	446	458	346		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	598.5	605.3	557.3	573.0	432.0		
経費に関する 補足説明							

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	115.3	98.3	98.7	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成20年度で17回目の大会を開催することができた。目標は、大会期間中に宿泊いただくことであるが、大会を継続させることを一つの目標と考えており、概ね達成できている。						自己評価 (5点評価)	4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 会場が津井グラウンドであるため、宿泊客は西淡地域に偏るが、毎年多数の人に宿泊して頂いていることで、市への波及効果は大きい。						自己評価 (5点評価)	4
			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	598.5	605.3	557.3	573.0	432.0	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 経費として副賞、参加賞の支出のみで、少ない経費で大きな成果がある事業である。						自己評価 (5点評価)	4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 800人の参加者が県内外から南あわじ市を訪れることは南あわじ市にとっても大きなチャンスであると考えます。						自己評価 (5点評価)	4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		市の支出は最小のもので、効果としては、民宿への宿泊による市全体への波及効果がある。また、リピーターとして大会参加者が、再度市を訪れてくれる可能性にも繋がることから、大会が継続される限り、市としてもバックアップしていきたい。					
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>兵庫県ゲートボール連合が主催している大会で、市は、後援として入賞者への副賞(海産物等)及び参加者への地元産品(乳製品)を提供しているもので、経費は最小に抑えられている。参加者が市内に宿泊することで市への波及効果が大きいと考えられるため、平成22年度も継続して後援する。</p>	<p>今後、関係者が協力して、選手だけでなく応援者も南あわじ市を訪れる大会となるように進めるほか、本大会を手本にして、市内の体育・文化施設等と連携して、他の大会の誘致にも取組んでいきたい。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>市としての事業を中止すれば、観光協会や関係する民宿組合からのクレーム等が予測される。</p> <p>しかし、市は後援という立場であり、ゲートボール大会の中止については兵庫県ゲートボール連合が考える問題である。</p>	